

学校教育目標	重点目標 (中・長期的目標)					
憲法及び教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学校の性格を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。	1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。					
	今年度目標	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
	(1) 人権意識を高め、挨拶、清掃から始まり部活動や生徒会活動などを集団として協力し合い、他人のため社会のために自分の力を使うことのできる社会人の育成に努める。	日ごろの清掃活動に加えて、6月のPTA環境整備事業への生徒の参加、12月の生徒会主催の校内清掃活動、また、雪かきなどに積極的に参加する生徒が増えてきた。	○			人権意識や規範意識の向上を図るためにも、生徒のほぼ全員が利用するスマートフォン等の使い方に関する啓発活動が考えられる。
	(2) 生徒が学ぶことを楽しみ、向上心をもって学べる授業作り、全職員が協力して取り組み、体罰やいじめのない「風通しのよい」学校を作る。また、普通科、商業科、それぞれの特色を活かし、生徒の潜在能力を引き出すために、下支えとともに上に引き上げる工夫を行う。	補習授業を実施して、学力向上を図る取り組みや、質問に回答する機会を多く設けている。普通科でもキャリア教育の一環として、JICAでの講義を計画して実践した。		○		生徒による授業アンケート(授業評価)を活用して授業改善を図るなかで、生徒の自主的な学習を促す。
(3) 学校創立100周年を目前として、地域に根ざし、地域から愛される学校となるよう、生徒会、PTAと力を合わせ開かれた学校作りを進める。	創立100周年に向けた内部での検討は進んでいるが、このことに関する地域への発信や開かれた学校づくりは、これからの課題となっている。		○		学校諸行事の実施にあたり、創立100周年と関連付けることで地域等への情報発信に役立てたい。	

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策	
教育活動	教育課程	入試動向を見据えた教育課程の改訂を行う。	入試動向に関する情報を精査し、本校生徒の実情に合致した教育課程を編成できたか。	生徒の進路希望や入試動向に即して、改訂を行う必要がある。		○		今後も必要に応じて、改訂を行う。	
	進路指導	進路指導	(1) 主体的な進路選択と個に応じた進路実現の支援 (2) 生徒、職員、保護者に向けた進路情報の共有化	(1) 支援を充実させることができたか。 (2) 情報の共有化を図ることができたか。	個別指導については継続的な指導体制ができあがっているが、さらに工夫が必要。進路選択の場面で安易な方向に流れる傾向があり、対応が求められる。情報過多にならないよう精選した情報を生徒に与えていく。		○		進路実現のため、基本的な学力を向上させる必要がある。生徒が主体的に学びへと向かい、進路実現をめざす支援についての方策を探る。
		キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	キャリア教育の推進ができたか。	2学年就業体験を実施した。	○			さらに有効な内容を模索する。
	人権平和教育	人権平和教育の推進により、人権に対する意識を高め、平和な社会の実現を目指す生徒の育成を図る。	(1) 人権平和教育について、生徒職員への啓発ができたか。 (2) 実施時期、内容は適切であったか。 (3) 各学年、係等との連携が図れたか。	憲法学習、映画鑑賞では、生徒・職員ともに意識啓発ができた。実施時期と内容について、各学年と連絡を取り調整して実施できた。12月の平和学習に向けて、生徒の関心を高められるような内容を検討する。		○		各学年と連携しつつ、学習内容を検討する。	
	図書	(1) 楽しく、豊かな読書体験の環境を整える。 (2) 教科や係と連携して、主体的な学習の援助を行う。	(1) 新着図書紹介や読書に関する様々な情報を図書館から発信できたか。 (2) 生徒・職員が必要とする資料やサービスを提供できたか。	(1) 新着図書案内・図書館便り・図書委員会便りなどの充実を努めた。 (2) 個人のほか、ホームルーム・授業(国語・社会・英語・家庭・美術・商業)進路面接・小論文作成・定時制での利用も多く、資料提供の充実を努めた。	○			様々な図書館サービス・図書委員会活動を更に充実させ、読書や学習をサポートしていきたい。	
	視聴覚	(1) 芸術鑑賞(音楽鑑賞)を通じて、芸術に触れる姿勢や態度の育成を図る。 (2) 情報モラル教育を推進する。	(1) 芸術鑑賞時のマナーを身につけられたか。 (2) 教科(情報を中心とする)や特別活動を通じて、情報モラル教育を推進できたか。	(1) 芸術鑑賞時は鑑賞するマナーを守り、芸術に触れる姿勢の育成は図れた。 (2) 視聴覚係としては情報モラル教育の推進はできていない。		○		情報モラル教育を教科の中心に据えている「情報」と連携して、情報モラルのより一層の浸透を図る。	
	生徒指導	(1) 挨拶の励行・身だしなみの改善を図る。 (2) マナー・モラルの推進を図る。 (3) 安全で安心して生活できる学校および学習環境整備を図る。 (4) 人権教育の推進を図る。	(1) 身だしなみや挨拶に自ら気を配る姿勢を身につけられたか。 (2) 登下校時の状況に改善の跡が見られたか。 (3) 安心して学校生活ができる環境が整えられたか。また、清掃を含め、校舎内の学習環境を整えられたか。 (4) いじめ・暴力などの事案に毅然とした対応ができたか。	(1) 学年の協力の下、定期的な点検および指導を行った。(2) 小町屋駐輪場の使用について苦情をいただいた。JR乗車マナーおよび登校指導を含め指導を実施した。(3) 生徒会役員・有志やPTAによる校内美化・環境整備活動が実施された。授業に対する準備および姿勢については改善の余地がある。 (4) いじめ・暴力(加害)事件は発生していない。情報教育の必要性を感じた		○		授業に対する姿勢や準備など改善されるよう指導していきたい。携帯やスマートホンの使用方法を含め、情報モラル教育の推進をはかる。	
	教育相談	(1) 心の問題を抱える生徒への対応を行う。 (2) いじめが起らないような体制を作る。 (3) 学年会との連携を密にとり、生徒の状況把握をする。 (4) 関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1) ①問題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②担任・学年会としっかり連携がとれたか。 (2) 生徒への啓蒙活動や情報の収集ができたか。 (3) 生徒の状況把握がしっかりできたか。 (4) スクールカウンセラーをはじめ、外部機関との連携がとれたか。また、校内でのチーム支援ができたか。	(1) 今年度はカウンセリングを受ける生徒、回数も例年に比べかなり少なかった。しかし、心に問題を抱える生徒は多く、担任、学年等で対応にあたった。また、医療機関につなげたケースもあった。 (2) 学年会との連携により、生徒の状況の把握を行うことができた。 (3) スクールカウンセラーの意見も参考に、連携した生徒支援が行えた。		○		担任、学年との連絡を密にすることにより、生徒の状況把握を行い、早めの対応ができるようにする。外部機関(医療機関)につなげるケースもあった。状況に応じて外部機関との連携も必要。	
	生徒会	(1) 自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る。 (2) クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり。 (3) 地域やPTAとの連携。	(1) 生徒会活動を通じて成長がみられたか。 (2) クラブ活動への加入率、および活動実態はどうであったか。 (3) 地域やPTAとの交流の機会を積極的にもつことができたか。	(1) 生徒会役員に活動の内容や機会が集中しており、役員とそれ以外の生徒とで成長の差が顕著にみられる。(2) クラブ加入率、活動状況は例年以上で、県大会にも多くのクラブが進出し、北信越大会・全国大会にも進出することができた。(3) 地域に出向いてのボランティア活動への協力、地域イベントへ積極的に参加することができた。		○		生徒会活動に学校全体が関心を持てるようにしていきたい。	
	美化	校舎内外の美化に取り組み、学習に集中できる環境を整える。	日々の清掃活動およびゴミの分別がきちんとできたか。	清掃の見回りなどを美化委員の生徒と共にを行うようにした。だが、まだ清掃が徹底できていない箇所があり、引き続き課題となっている。ゴミの分別については、特に資源ゴミについて委員を通じて徹底を図ったが、まだ不十分である		○		美化委員の生徒を通して生徒や職員にゴミ分別の方法を伝え、徹底を図る。清掃にしっかり取り組んでもらえるよう、引き続き声掛けを対策を考えていく。	
保健	(1) 健康教育の充実。 (2) 生徒一人一人の健康状態の把握と保健管理。	(1) 健康維持増進のための健康教育が適切に行われたか。 (2) 健康診断と事後指導は適切に行われたか。	(1) 学年と協力し、1年「薬物乱用防止教育講演会」2年「性教育」が実施できた。(2) 診断結果を全生徒に配付し、事後指導に役立った。		○		特に冬季の感染症予防に関して、さらに予防接種、手洗い励行を訴える。		
学校運営	教務 広報・情報	庶務	本校教育活動の円滑な運営	諸行事企画段階で、各分掌の検討事項を明らかにして積極的な関わりを求めることができたか。	生徒会やPTA等の行事の日課の調整・スケジュールの検討では、かかわりをもってきた。しかしながら、それぞれの行事の検討課題にかかわる部分にまでは踏み込んでいない。		○	今年度の行事の反省をもとに、検討事項を予め明らかにしておく。	
		広報・情報	(1) 情報発信の際、学校を地域に開くことを意識して行う。なかでも創立100周年をアピールするためにもホームページを活用する。(2) ネットワークの更新を前に、サーバー内のファイルの整理を進める。	(1) 地域に開いた学校づくりのために、積極的に広報活動を進めることができたか。(2) 段階的にサーバー内のファイル整理を進めるため、計画的に各分掌に呼びかけることができたか。	(1) 各行事に加え、クラブ活動の結果や報告も積極的に発信することができた。今後は生徒会のページを作りたい。 (2) 職員会で教科・分掌に対して、サーバー内の整理を呼びかけ、来るサーバー更新に備えた。	○		(1) クラブ活動、生徒会活動のページの充実。 (2) サーバー内のデータの共有方法を、事務局とも相談したい。	
		防災	防災意識を高め、緊急時に備える	防災意識を高めることで、避難訓練の状況は変化してきたか。	避難の方法、手続きに対し、職員の意識を統一することができた。	○			次年度以降も、今年の手順が定着するようにしたい。
	予算施設	(1) 学校予算について検討協議する。 (2) 校内施設や設備の管理について協議推進する。	(1) 備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2) 校内施設が有効利用されたか。また、整備・修理が適正に行われたか。	(1) 適性に執行できた。 (2) 学級数の変動を考慮しながら有効利用に向けて検討した。		○		(1) 引き続き適正執行につとめる。 (2) HR教室はできるだけ普通教室におさめるよう検討する。	
	学校運営検討	学校運営上の問題等について検討し方向性を出す。	学校運営上の問題に対して迅速に対応できたか。	本年度は、委員会を開いて検討する学校運営上の問題はなかった。		○		学校運営が円滑に行くよう各委員会・係と連携する。	
	PTA	PTA活動の円滑な運営と多くの保護者の参加の促進	保護者と職員が協力して、生徒のための活動ができたか?	例年通り、保護者と職員が協力して計画通り活動を行うことができた。	○			文化行事(陶芸教室、PTA合唱、ゴマ井販売、PTA講演会、研修旅行)や美化作業(生徒・保護者・職員)、強歩大会・文化祭等により多くの人の参加を求めていく。	
	同窓会	創立100周年記念事業実施に向けて、準備を進める。	学校(職員会・生徒会)や全定PTAとの連携を図ることができたか。	準備委員会、実行委員会を立ち上げ、学校・PTA・同窓会の代表者による検討を進めてきた。PTAや生徒会との話し合いの場をもつこともできた。		○		学校・PTA・同窓会の代表を中心に検討を進めてきたが、より大勢の力を結集するためにも、話題提供に努める。	
学校評議員会運営	学校評議員会の効果的に運営する。	学校評議員からの意見や要望を学校運営に生かすことができたか。	学校評議員の方々から、様々な意見をいただき学校運営等の参考にさせていただいた。		○		学校評議員の方々からの意見・要望を全職員に周知する。		
安全衛生	教職員の健康管理の推進を図る。	全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。	全職員が健康診断をするよう取り組み、未受診の職員へは他の機関へ紹介を図るなどして前年度より多くの職員が受診している。全員が受けるよう引き続き取り組むたい。	○			安全衛生委員会が主体となり、事後処理が実施できた。次年度においてもPRに努める。		